

## 2/27 いのちのとなりで できること 令和6年度鶴田町自殺対策講演会

町の自殺対策強化事業の一環で、法永寺（五所川原市）の住職で認定臨床宗教師の小山田和正氏を招き、自殺対策講演会を開催し、68 名の方が参加しました。

臨床宗教師とは、被災地や医療機関、福祉施設などの公共空間で心のケアを提供する宗教者です。講演では臨床宗教師としての活動状況や心の痛みなどを抱える方への傾聴の大切さについて話されていました。

町では毎年、自殺対策の正しい知識を普及し意識を高め、住民自身が地域の中でできることは何かを考えるきっかけとなるよう講演会を開催しています。



国際交流会館で行われた講演会のようす



ゴールド賞の賞状を手にする木村社長とワインを持つ相川町長

## 3/4 国際コンペ「サクラアワード」でゴールド賞 つがるワイナリー 第12回サクラアワード2025 受賞報告

つがるワイナリー（木村洋文社長）が相川町長を訪ね、アジア最大のワインコンペティション「第12回サクラアワード2025」で、2年連続でゴールド賞を獲得したことを報告しました。

ゴールド賞を獲得したワインは、地元産のスチューベンを使用し、縄文酵母で醸造した赤ワイン「縄文の奇跡 2023」です。また、そのほかにも同ワイナリーのワイン3点がシルバー賞を獲得しました。

木村社長は「鶴田町のスチューベンで良いワインができて良かった。これからも良いワインを造って発信していきたい」とこれからの意気込みを語りました。

## 3/6 協力隊が雪室スチューベンに挑戦！ 鶴田町地域おこし協力隊 雪室掘り起こし

町地域おこし協力隊が、雪の中に果物などを貯蔵する天然の冷蔵庫「雪室」の掘り起こしを行いました。

協力隊員たちは地域特産品の付加価値を高めようと初めて企画し、今年の1月に試験的に町特産のスチューベンやリンゴ、長ネギが入った箱を雪室で保管しました。

取り出したリンゴや長ネギは成功していましたが、スチューベンは房のところどころに白いカビが発生していて、隊員たちは今回の結果を「湿度などが原因ではないか」と次回への改善策を分析していました。



雪室からスチューベンの箱を取り出す



雪をかき分け畑に入ってみると…。予想はしていたものの豪雪の影響で、枝折れ、番線切れ、支柱折れが散見。さらにネズミの被害も多数。少し落ち込んでおりました。そんなとき耳にした「りんご娘」の新曲「North End All Stars」県内の全40市町村名とその特産品や祭りを盛り込んだ観光PRソングとのこと。

「きっと鶴田は舞橋だろうなあ」と思って聴いてみると…。「鶴田町はスチューベン」と。二度見ならぬ二度聴き、三度聴きしてしまいました。鶴田町の代名詞として取り上げられた「スチューベン」。その生産に携われることに誇りと責任を感じます。と同時に自慢したい気持ちになりました。協力隊としてのラストイヤー。この曲で地道にそして継続的にスチューベンの知名度アップ、発展に微力ながら尽力していこうと落ち込んだ気持ちを吹き飛ばしました。



△雪をかき分けて圃地を確認する葛西さん



Facebook



Instagram

地域おこし協力隊の活動内容は、各種SNSでも確認することができます。



全国大会での活躍を誓った永山さんと母・たまきさん

### 3/18 全国大会で自己ベストを！ スキー・スラローム全国大会出場報告

鶴田小学校6年の永山智也さんが、3月22日～26日に長野県で開かれる「JOCジュニアオリンピックカップ2025全日本ジュニアスキー選手権大会」にスラローム競技で出場することを相川町長に報告しました。

永山さんは2月15・16日に行われた「2025 あじやろ学童チャレンジカップスキー大会」で2位に入り、自身初の全国大会出場を決めました。

永山さんは「自分のベストを出せるように頑張ります」と意気込みを語りました。

### 3/21 変化する病害虫に対応する りんご病害虫マスター養成事業 修了報告

町農家の石岡高彦さんと出町優樹さんが、県りんご病害虫マスター養成事業を修了したことを相川町長に報告しました。

同事業は県りんご協会がりんご産地の県内市町村の協力を得て開講しているものです。

修了報告をした出町さんは「近年、温暖化によって病害虫の被害が変化しているので、研修によって最新の知識を得ることができてよかった」、石岡さんは「今回の研修で得た知識を地域のりんご農家に共有し、地域に貢献していきたい」と話していました。



相川町長に修了報告を行った出町さん（左）と石岡さん（中央）



会場に来た同じ犬種同士で集合写真

### 3/23 たくさんのワンちゃんたちが大集合！ わんわんマルシェ in TSURUTA LABO

地域活性化支援センター「TSURUTA LABO」で愛犬家のためのイベント「わんわんマルシェ」が初開催され、町内外から240匹のワンちゃんとその飼い主ら約400人が集まりました。

このイベントは町内の「K.T House」が冬期でも愛犬と飼い主が遊べる場所を提供しようと企画したものです。同センターの体育館の半分をドッグランとして開放し、残りの半分で犬用のおやつや服などの販売、ペット整体などのさまざまなお店14店舗が出店していました。来場者は愛犬が遊んでいる様子を撮影したり、飼い主同士の交流を楽しんでいました。

### 4/6 地域の桜を次へ繋いでいく 間山町内会 桜の剪定・ごみ拾い

間山町内会が間山地区農村公園とその周辺で、桜の剪定とごみ拾いを行いました。

同町内会は30年ほど前からきれいな花を咲かせるために公園やその周辺の桜の剪定作業を毎年行っており、現在は約120本の桜が植えられています。

当日は午前7時から地域の住民たち約80人が集まりました。住民たちはつぼみが見えない枯れた枝や伸びすぎた枝などを見極めて、ノコギリで1本1本丁寧に切り落としていました。

また、公園周辺のごみ拾いも行われ、参加した住民たちは冬場、雪の中に埋もれていたビンや空き缶などのごみを拾い集めていました。



桜の剪定を行う住民たち